

JTBグループ労働組合連合会 2021年度運動方針概要

環境予測・課題想定

<p>《社会・経済環境》 新型コロナウイルス感染症の影響により、景気は依然として厳しい状況にある中、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さが見られます。先行きについては、感染拡大の防止策を講じる中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、内外の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要があります。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。</p>	<p>《産業環境》 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた人流停滞により、産業全体として非常に厳しい状況が続いており、先行き不透明な状況にあります。世界的にワクチン接種が進んでいる状況にはありますが、人流の再開という意味ではまだまだ先が見通せない状態です。</p>	<p>《グループの概況》 2020年度のグループ決算は、売上総利益：1,081億17百万円（前期比61.2%減）、営業損失：975億56百万円（前期比+→▲、前期から989億49百万円の減益）、経常損失：742億76百万円（前期比+→▲、前期から768億24百万円の減益）の減収減益となりました。社2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、2020年7月からスタートさせた中期経営計画の区切りの年度となり、2022年度以降の回復・成長・新生に向けた重要な1年</p>	<p>《連合会組織実態》 連合会の組織実態としては、グループ経営改革における要員戦略に基づき、グループ従業員数は2021年3月31日時点で23,785名（前期比3,427人減）と減少したことに対して、連合会の会員数は2021年6月1日時点で14,990名（前期比1,794人減）となり、引き続きグループ内過半数を維持出来ています。</p>
--	--	--	---

活動の基本目標：将来にわたるくらしと仕事の安定化・働きがいと職場の確保

連合会の役割

<p>《総意の反映》 単独の組織では対置が困難な案件に関する協議や提言を行うこと</p>
<p>《連帯・共闘の創出と深化》 各組織が実現したいと考える主体的な活動の具現化や働く仲間の尊厳確立にむけた連帯・共闘を創出し、深めること</p>

○運動のテーマ：Solidarity3.0 ～弛まぬ活動の深化と進化～

主体的・民主的・包摂的な活動を通じて共感を育み、連帯の絆を強め、革新性を備えた総意工夫を重ねながら弛まぬ活動の進化と深化を追求する

活動範囲／役割	総意反映に向けた協議・提言	連帯・共闘の創出と深化
グループ全体	【運動方針①】 グループ、及び産業の成長による労働条件維持・向上に向けて、適切な総意収斂活動に基づく総意反映機会と協議内容の拡充に取り組む	【運動方針②】 グループ、及び産業全体の労働条件維持・向上に向けて、多様性を尊重した主体的な連帯活動・共闘に取り組む
産業全体	【運動方針③】 将来的な労働環境の変化へ適切な対応を可能とする新たな活動の検討と安定的な労使関係構築に向けた活動基盤の整備に取り組む	
連合会活動基盤 新たな連合会活動	【運動方針④】 持続性の高いUSR活動を通じて、社会や地域の課題解決に繋がる適切な共生活動を深める	

①総意反映に向けた協議・提言

2021年度運動方針	◆グループ、及び産業の成長による労働条件維持・向上に向けて、適切な総意収斂活動に基づく総意反映機会と協議内容の拡充に取り組む	
	2022年8月に有りたい姿	取り組みの方向性
<p>【労使関係の維持・向上】 ◆経営協議・団体交渉を着実に実施出来る関係性の確立に加え、経営の重要事項について十分な協議、及び必要なコミュニケーションが図れる関係性を構築出来ている</p> <p>【協議内容・機会の拡充と項目の拡大】 ◆主体的な議論による協議方針の策定に基づく計画協議の総意反映サイクルが確立出来ている ◆中期要員計画に基づく要員戦略協議、及び人財戦略協議の充実が図られている ◆人財の活用・強化に向けたキャリアオーナーシップ向上に繋がる制度を構築出来ている</p> <p>【議論・調査研究体制の充実】 ◆拡大執行委員会、事業部会を有効活用した議論の深耕が図られている ◆事業戦略を中心に専門委員会等の議論・諮問に基づく先見的な議論体制が構築出来ている</p> <p>【産業への総意反映】</p>		<p>【労使関係の維持・向上】 ◆経営協議・団体交渉を着実に実施出来る関係性の確立に加え、経営の重要事項について十分な協議、及び必要なコミュニケーションが図れる関係性構築に取り組む</p> <p>【協議内容・機会の拡充と項目の拡大】 ◆主体的な議論による協議方針の策定に基づく計画協議について、経営協議会、経営懇談会の枠組みを有効活用した総意反映サイクルの定着に取り組む ◆利益計画に基づく構造改革・企業再編・要員計画等、労働条件に影響を与える経営の重要事項について、先見的な議論に基づく着実な協議に取り組む ◆労働協約に基づく協議事項に加えて、中長期的な人財戦略に関するグループ労使協議の定着に取り組む</p> <p>【議論・調査研究体制の充実】 ◆拡大執行委員会での議論の方向性を整備しつつ、議論機会の有効活用による議論の深耕に取り組む ◆事業部会での議論深耕に加え、専門委員会等の活用による先見的な調査研究に取り組む</p> <p>【産業への総意反映】</p>

②連帯・共闘の創出と深化

2021年度運動方針	◆グループ、及び産業全体の労働条件維持・向上に向けて、多様性を尊重した主体的な連帯・共闘に取り組む	
	2022年8月に有りたい姿	取り組みの方向性
<p>【加盟組合連帯】 ◆加盟組合の多様性と主体性に基づく連帯活動により、加盟組合の執行課題解決が図られている ◆総合労使協議体制の堅持と導入加盟組合が拡大している</p> <p>【共闘（秋・春闘）】 ◆連合会方針を背景に加盟組合の主体的な意思に基づく要求行動により労働条件の維持・向上、及び各組合員の納得感の醸成が図られている</p>		<p>【加盟組合連帯】 ◆加盟組合の多様性と主体性に基づく連帯活動により、目指すべき活動の実現に取り組む</p> <p>【共闘（秋・春闘）】 ◆加盟組合の多様性を尊重した主体的な要求行動に繋がる秋・春闘方針の策定、及び着実な成果を創出する共闘に取り組む</p>

③活動基盤の整備と新たな活動の創出・社会との共生

2021年度運動方針	◆将来的な労働環境の変化への適切な対応を可能とする安定的な労使関係構築に向けた活動基盤の整備と新たな活動の検討に取り組む	
	2022年8月に有りたい姿	取り組みの方向性
<p>【連合会活動基盤の充実】 ◆グループ労使協議関係の強化に繋がる組織拡大（未組織組織化・組織内拡大）に継続的に取り組み、組織拡大に向けた活動が定着している ◆連合会各機関の役割・活動機会を継続的かつ柔軟に精査し、年間を通じて機関の有効活用が図られている ◆知識習得機会や情報連携機会を有効活用し、連合会全体としての活動推進力が高まっている ◆先進的な労働条件基準の拡充と法改正対応方針が適宜策定されている</p> <p>【新たな連合会活動の創出】 ◆将来の雇用環境を見据えた主体的な雇用保障が可能となる活動が創出出来ている</p>		<p>【連合会活動基盤の強化】 ◆グループ労使協議関係の改善に繋がる組織拡大（未組織組織化・組織内拡大）に取り組む ◆連合会活動における適切な総意収斂、情報連携に繋がる機関運営の改善に取り組む ◆連合会本部と加盟組合との継続的なコミュニケーション強化に取り組む ◆加盟組合の活動の着実な前進に向けたベースとなる知識習得機会を創出する ◆先進的な労働条件基準の拡充と法改正対応方針の適宜策定に取り組む</p> <p>【新たな連合会活動の創出】 ◆将来の雇用環境を踏まえた主体的な雇用保障の在り方及び具体的活動の検討に取り組む</p>
2021年度運動方針	◆持続性の高いUSR活動を通じて、社会や地域の課題解決に繋がる適切な共生活動を深める	
	2022年8月に有りたい姿	取り組みの方向性
<p>【社会との共生】 ◆社会の公器として積み重ねた活動領域において、関係団体との連携による効果的な活動に基づき、労働組合として対応可能な社会貢献を果たしている</p>		<p>【社会との共生】 ◆関係団体との効果的な連携による効率的なUSR活動を実践する</p>